



地域医療への貢献誓う 岐阜保健大など卒業式



学位記を受ける岐阜保健大の卒業生＝岐阜市長良、岐阜グランドホテル

岐阜保健大・大学院・医療専門学校(岐阜市東鶉)の卒業式が9日、岐阜市長良の岐阜グランドホテルで開かれ、医療の道を志す学生らが巣立った。

今年は看護学科の大学生80人、看護学研究科の大学院生3人、はり・きゅう科と柔道整復科の19人の計102人が卒業した。式で河田美紀学長は「この卒業証書は、コロナ時代

という困難な環境で生き抜いた証しでもある。志を持ち、新しい時代の医療人として歩み続けてほしい」と式辞を述べた。学生を代表し、看護学科の栗本佳音さんは「実習でさまざまな病と向き合い、懸命に生きる患者との出会いがあった。地域医療に貢献できる人材になれるよう、努力し続ける」と謝辞を述べた。

(山田俊介)